

## 貸借対照表

(平成19年11月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	千円 618,208	<b>流 動 負 債</b>	千円 318,766
現金及び預金	290,937	短期借入金	30,000
営業未収金	313,606	未払金	19,895
前払費用	9,776	未払費用	197,998
繰延税金資産	5,649	未払法人税等	31,475
その他	120	その他	39,397
貸倒引当金	1,882	<b>固 定 負 債</b>	120,000
		長期借入金	120,000
<b>固 定 資 産</b>	147,068	<b>負 債 合 計</b>	438,766
<b>有 形 固 定 資 産</b>	4,932	<b>純 資 産 の 部</b>	
建物	2,853	株 主 資 本	333,846
構築物	24	資 本 金	100,000
工具、器具及び備品	484	資 本 剰 余 金	31,000
土地	1,571	資本準備金	15,000
<b>無 形 固 定 資 産</b>	4,097	その他資本剰余金	16,000
ソフトウェア	1,814	<b>利 益 剰 余 金</b>	202,846
電話加入権	2,282	利益準備金	14,000
<b>投資その他の投資</b>	138,037	その他利益剰余金	188,846
投資有価証券	121,344	任意積立金	40,000
繰延税金資産	5,312	繰越利益剰余金	148,846
長期前払費用	11	<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	7,336
差入保証金	11,369	その他有価証券評価差額金	7,336
		<b>純 資 産 合 計</b>	326,509
<b>資 産 合 計</b>	765,276	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	765,276

(注) 記載金額は千円未満切り捨てて表示しております。



(5) ヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法…………… 特例処理の要件を満たす金利スワップについて特例処理を採用しております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

・ヘッジ手段 …………… 金利スワップ

・ヘッジ対象 …………… 短期借入金

ヘッジ方針…………… 固定金利を市場の実勢金利に合わせて変動化する場合や将来の金利上昇リスクをヘッジするために変動金利を固定化する目的で、「金利スワップ取引」を利用しているのみであり、投機目的の取引は行っておりません。

ヘッジ有効性評価の方法… 特例処理によっているため、有効性の評価を省略しております。

(6) 消費税等の会計処理方法… 税抜方式を採用しております。

## 2. 貸借対照表に関する注記

(1) 支配株主に対する金銭債権・債務

支配株主に対する短期金銭債権	3,936 千円
支配株主に対する長期金銭債権	2,193 千円
支配株主に対する短期金銭債務	57 千円
支配株主に対する長期金銭債務	120,000 千円

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 11,210 千円

## 3. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	147 円 08 銭
(2) 1株当たり当期純利益	25 円 91 銭

## 4. 当期純損益金額

当期純利益金額	29,602 千円
---------	-----------